

別記様式(第5条関係)



平成 29 年 4 月 12 日

南国市議会議長

西岡 照夫 様

議員名 渡田 和子

平成 28 年度政務活動費収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項に基づき、別記様式・その2
のとおり平成 28 年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動費収支報告書

議員名 浜田 和子

平成 2 8 年度 政務活動費収支報告書

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	101,334	
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	2,376	
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	103,710	

3 残 額 16,290 円

(注) ・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

平成28年度 政務活動費 出納簿

議員名 浜田 和子

(円)

整理 番号	月日	項目	摘 要	収入金額	支出金額	差引残高
1	4・5	2	JIAM(全国市町村国際文化研究所)の研 修費、旅費		32,260	-32,260
	4・28		政務活動費	120,000		87,740
2	7・21	8	書籍購入「田園回帰1巻」		2,376	85,364
3	2・6	2	地方議員研究会受講料、旅費		69,074	16,290

※項目… 1. 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費
6. 会議費 7. 資料作成費 8. 資料購入費

政務活動記録簿

議員名 浜田 和子

整理番号	1	項目	1. 調査研究費 4. 広聴費	2. 研修費 5. 要請・陳情活動費	3. 広報費 6. 会議費
年月日	平成28年4月14日(木)～平成28年4月15日(金)				
相手方・調査先等	ジャイアム 全国市町村国際文化研修所				
場所	滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号				
活動内容等(目的、内容、結果、所感等を記入)	<p>第1回市町村議会議員特別セミナー(講演)</p> <p>1、「国家戦略特区」における事業の進捗、課題と今後の展開について 講師 兵庫県養父市長 広瀬 栄</p> <p>2、「神山プロジェクト」～創造的過疎から考える地方創生～ 講師 特定非営利活動法人グリーンバレー理事長 大南信也</p> <p>3、高校の魅力化×地域の活性化 地域との協働による高校改革を考える 講師 株式会社株式会社 Prima Pinguino 代表取締役 藤岡 慎二</p> <p>4、地方創生の課題～成功する地域の条件 講師 一般財団法人地域活性化センター理事長 椎川 忍</p> <p>地方創生・地域の活性化がこれからの大きな課題であることから、既に大きな成果を導き出している事例を学び、南国市の取り組みの参考にしたいと思い参加した。神山町の神山塾は人材育成事業として大変素晴らしい取り組みであると感じたし、藤岡先生の高校の魅力化が地域の活性化に繋がるという視点、島根県海士町、大阪府能勢町を始め多くの人口減の自治体の行政との協同プロジェクトも若者が地方で活躍できるようにするための取り組みとして大変参考になった。しかし、そういった取り組みにも先立つ人材をいかに確保するかにおいて、南国市としては更に大きな課題であると受け止めざるを得ない。その思いを深めるに至った。</p>				
	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	後免駅～唐崎	JR、湖西線	往復券	22,960	
	研修参加経費	研修費、宿泊費、食費		7,300	
	日当	1,000(4/14分) 1,000(4/15分)		2,000	
	その他				
	合 計			32,260	
備考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 浜 田 和 子

整理 番号	3	項目	1. 調査研究費 ②. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費	
年月日	平成 29 年 2 月 5 日 (日) ~ 平成 29 年 2 月 6 日 (月)			
相手方・ 調査先等	研修会「地方議員研究会」(主催：地方議員研究会)			
場 所	東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通りハタビル アットビジネスセンター			
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感 等を記 入)	<p>1、 わがまちで地域包括ケアを実現するためには</p> <p>2、 人口減少社会における持続可能な医療・介護を考える 講師 城西大学経営学部 教授 伊関 友伸 (2講座とも)</p> <p>地域包括ケアを進めていく上で何が重要であるのか、又、人口減少社会に突入している南国市において、持続可能な医療・介護について学ぶべきだと思い参加した。</p> <p>自治体において、地域包括ケアの推進のため市町村医療計画を策定すべきである。その医療計画には、人材育成計画を盛り込むべきであるとの結論であったが、いま一つピンと来なかった。講師の伊関先生は、公的病院についての専門性が高い方なので、私が期待した地域包括ケアについての展望が講義されなかったのではないかと感じた。ただ、今後の持続可能な医療・介護という点においては、地域産業としての病院や福祉施設が望まれるということで、南国市においても意識していかなければならないと思った。医師不足・看護不足にどう取り組むかも課題である。問題提起はあったが解決策は提示されなかった。</p>			
	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)
	龍馬空港～羽田 空港	航空機(パック)		33,800
	羽田空港～東京 駅	モノレール、JR山 手線	637×2(往復)	1,274
	研修参加費			30,000
	宿泊費			0
	日 当	2,000×2		4,000
	その他			
	合 計			69,074
備 考				

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。